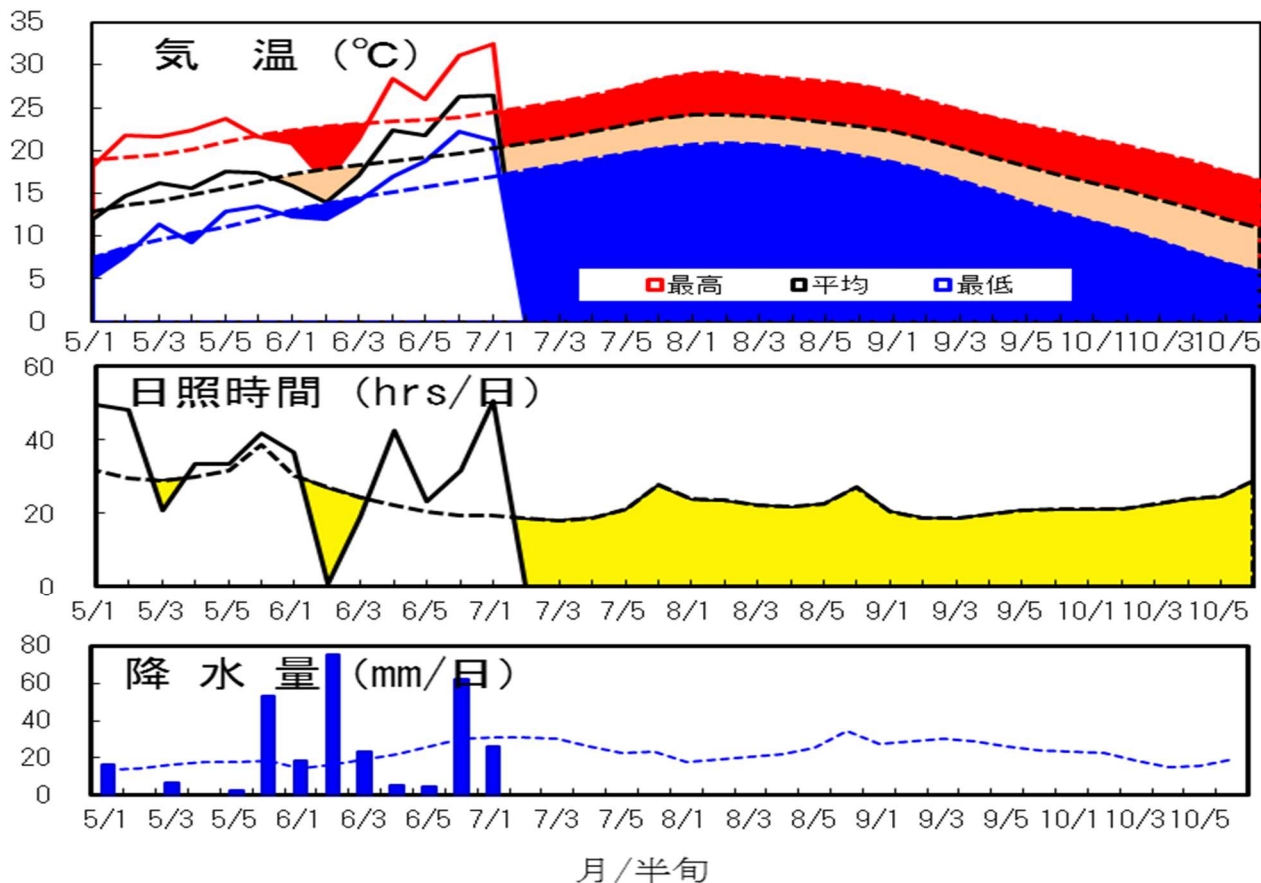


～出芽揃いは概ね良好 適期に中耕培土・雑草防除を～

1 気象経過



- ・播種後の気象は、6月第1半旬から第3半旬まで低温で経過した。
- ・日照時間は5月第6半旬と6月第2半旬から第3半旬までを除き、多照となった。
- ・降水量は、5月第6半旬から6月第3半旬までと6月第6半旬が多雨で経過した。

2 生育状況

【宮城県古川農業試験場 作況試験より】

① 5月25日播種

- ・出芽日数は1～2日遅かった。5月第6半旬の降雨により播種時の土壌水分は適度となり、出芽揃いは良好であった。

② 6月14日播種

- ・播種後に降雨があったことから、出芽日数は6日で、出芽揃いは良好であった。

出芽状況

品種名	播種期 (月/日)	出芽期 (月/日)	出芽日数		
			本 年	前年差	平年差
タンレイ	5/25	6/2	8日	1日遅い	2日遅い
ミヤギシロメ	5/25	6/3	9日	2日遅い	2日遅い
ミヤギシロメ	6/14	6/20	6日	1日早い	—

- ・主茎長は、22～24cmで平年より5～6cm、前年より2～3cm短かった。

- ・主茎節数は、7.6～7.7節で平年より0.4～0.5節少なく、前年より0.0～0.2節少なかった。
- ・分枝数は1本に満たず、総節数も平年並み～やや少なかった。

生育調査結果（7月5日調査）

播種期	品種名	主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			総節数(節/本)		
		本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
5/25	タンレイ	22	-2	-6	7.7	-0.2	-0.5	0.7	0.7	-0.1	10.2	1.6	-0.8
播種	ミヤギシロメ	24	-3	-5	7.6	0.0	-0.4	0.7	0.5	0.2	9.9	1.3	0.0



古試：タンレイ（7/5 現在）



古試：ミヤギシロメ（7/5 現在）

3 今後の管理

1 干害対策

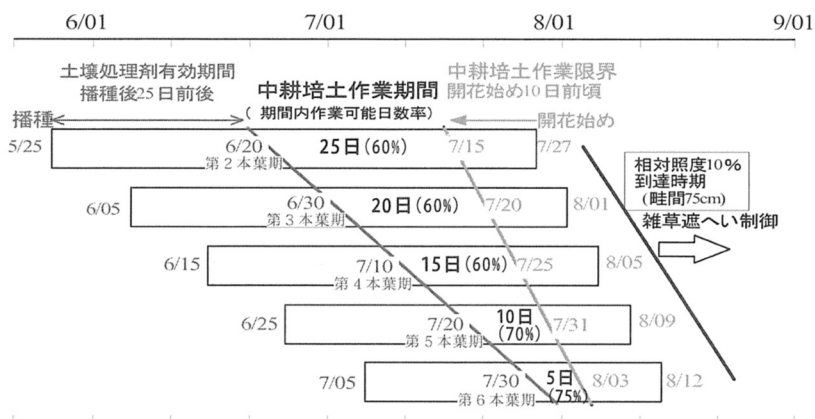
- ・早生品種では5月下旬に播種をすると7月下旬頃から開花が始まるが、開花時期に乾燥が続く場合は、着莢率を向上させるため、水田機能を生かした畦間かん水などが有効である。

2 湿害対策

- ・排水対策の重要な時期は、①播種直後の発芽期、②根粒着生から開花前までの生育前期と③子実が肥大する生育後期である。
- ・生育後期は湿害により未熟粒や障害粒が発生するので、登熟を良好にするために排水対策が重要となる。

3 中耕培土

- ・中耕培土は、培土部分からの不定根の発生（養水分吸収力のアップ、不定根に着生する根粒による窒素固定）、倒伏防止、通気性改善、除草効果等、多くの効果が期待できる。
- ・播種後に散布する除草剤（土壌処理剤）の有効期間は、下図のとおり播種後25日前後とされている。また、5月下旬に播種をすると7月下旬には開花が始まることから、開花10日前までには中耕培土作業は終わるべきである。中耕培土の作業期間は限られてくることから、下図を参考にして中耕培土の作業計画を立てる。



【中耕培土作業可能期間設定のめやす】

◆培土の目安は、右図を参考にする。

普通栽培（5月下旬～6月上旬播種）では、1回目は本葉2～3葉期に子葉節がかけれる高さまで、2回目は6～7葉期に初生葉がかけれる高さまで行う。

晩播栽培（6月中旬～7月播種）では、大豆の繁茂量が少ないので、排水と雑草防除を主体に1回程度とし、本葉5～6葉期に子葉節がかけれる程度の高さまで行う。



【培土のめやす】

4 雑草防除

- ・最近は、「難防除雑草」が発生している大豆畑が見られ、対策に苦慮している事例が見られる。「広葉雑草対策」剤として「大豆バサグラン液剤（ベンタゾン塩液剤）」や「アタックショット乳剤（フルチアセットメチル乳剤）」が普及に移されている。
- ・大豆バサグラン液剤は「アメリカセンダングサ」や「オオイヌタデ」に効果が高く、アタックショット乳剤は「イヌホオズキ」や「アレチウリ」に効果が高い。
- ・上記の茎葉処理剤は、効果の高い草種が異なるので、ほ場に発生する優先雑草を把握したうえで、使用する薬剤を選択する。それぞれの剤の特徴については、宮城県農業・園芸総合研究所のホームページ（普及に移す技術）等を参照されたい。



【大豆畑を覆いつくしたアレチウリ】

◆7/7 発表 東北地方の1か月予報（7月9日～8月8日までの天候見通し）【気象庁ホームページより】

- ・東北太平洋側では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い。期間の後半は、天気は数日の周期で変わる。期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みである。
- ・向こう1か月の気温は、高い確率50%，平年並みの確率40%，低い確率10%。
- ・降水量は、多い若しくは平年並みの確率40%，少ない確率20%。
- ・日照時間は、多い若しくは平年並みの確率30%，少ない確率40%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）			
気温	東北地方	向こう1か月 07/09～08/08	10 40 50
		1週目 07/09～07/15	10 10 80
		2週目 07/16～07/22	20 50 30
		3～4週目 07/23～08/05	20 40 40
降水量	東北地方	向こう1か月 07/09～08/08	20 40 40
日照時間	東北地方	向こう1か月 07/09～08/08	40 30 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)